

重点11 教職員研修の充実

1B 教員の資質向上（幼稚園）

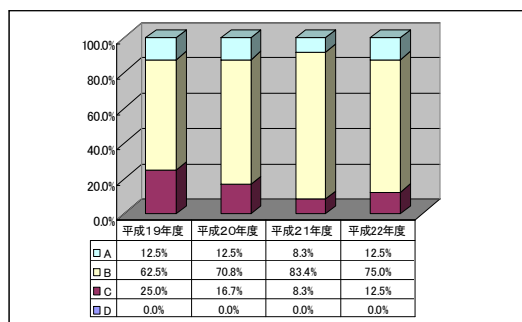
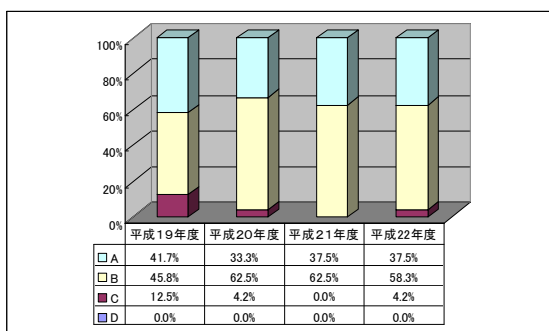
ねらい

幼稚園の生活において、一人一人の幼児が発達に必要な経験を得られるようになるためには、教職員が幼児の発達の特性や生活の流れなどに即して、幼児のかかわる環境を構成し、適切な援助をしていくことが大切です。そのために、教職員が様々な観点から研修を進めることで、教職員としての専門性を磨き、資質の向上を図っています。

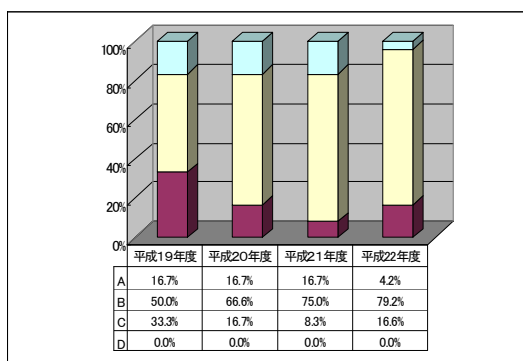
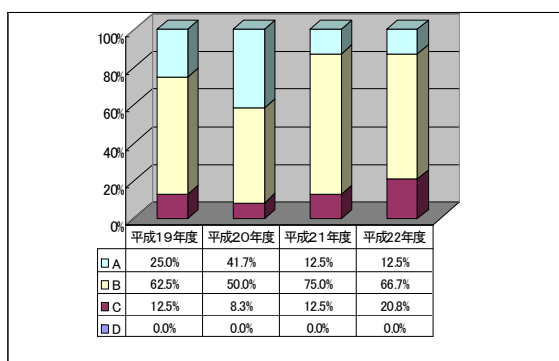
現状と課題

○ 研修に関する園の反省

Q1 学び合う教職員集団づくりができたか。 Q2 計画的・継続的な研修が実施できたか。



Q3 教育力向上のため保育公開ができたか。 Q4 研修の工夫・改善がされたか。



「A」：十分 「B」：おおむね十分 「C」：やや不十分 「D」：不十分

- すべての項目において、「十分」「おおむね十分」とする回答がほぼ80%以上となっており、研修に関する成果がみられます。
- 一方「やや不十分」とする回答が昨年度より増加しています。この原因を探るとともに、研修体制や評価基準の見直しを進める必要があります。
- 具体的には、地域等との連携を大切にした園行事と日々の教育実践を充実させるカリキュラムの編成が必要です。
- 多くの園が、健康な心と体を育てる研修や、食育を主題にした研修に取り組んでいます。これによって、幼児の食への意欲や体力向上、保護者の意識改善等、一定の成果が見られます。

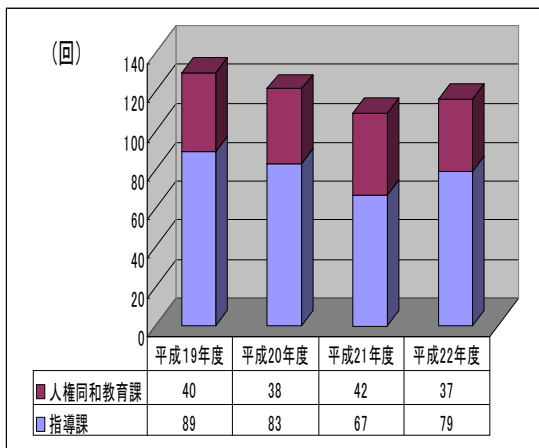
今後の方向性

- 園づくりビジョン達成に向けた研修を計画的・継続的に進めるため、研修時間の確保や研修会の持ち方など、運営面での一層の見直しを図ります。また、園の自己評価を実践内容の改善に生かし、質の高い教育実践ができるよう、日常の研修の充実を図ります。
- 学びの一体化の取組が進められる中、保育園、小・中学校、地域との連携をさらに進めるため、授業（保育）公開・研修会などを行います。
- 幼児の遊びや体験を通じた総合的な指導を行い、身近な人や環境とのかかわりを重視した教育を進めていきます。また、教職員の専門性を高めるため、実践記録をもとに幼児理解や指導方法の改善につながる研修を深めます。

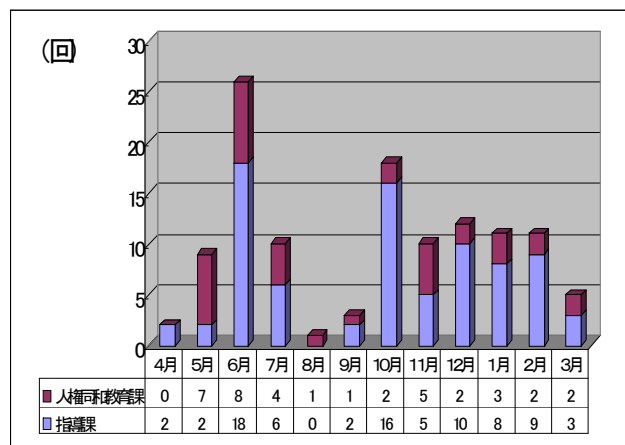
その他の主な取り組み状況

- 園内研修等への指導主事の参加・訪問回数

<参加回数の推移>



<平成22年度年間参加回数の推移>



(四日市市障害のある子どもの保育研修会の専門委員会の業務における派遣回数を含む)

- ・ 幼稚園では積極的に保育公開に取り組んでおり、毎年、各園2～3回程度要請訪問を実施しています。